

町名考の年此他毛河き町名実もそくぬく
 百姓たれれ田多名附をかりに限るは畑他
 不りも多ぬこれ植付耐る死の旬のひい下
 流りも河の石之組ひけ考は修福身
 百姓石やとく役下され時平人も持
 一より百姓より一人獨り百姓は女抱
 中へき事

一 夫婦かけむひの百姓を身上げは流中
 友百姓小日ひの中やれはても身上げけ
 米金とたきん持は石又かき百姓は
 けしわ云察もそよくひひりひ米産は
 居いその上なる石一就念住りの
 して又あかへ所上下は百姓もか人は進状子
 志んぬる石之組改すそも云察をのけと